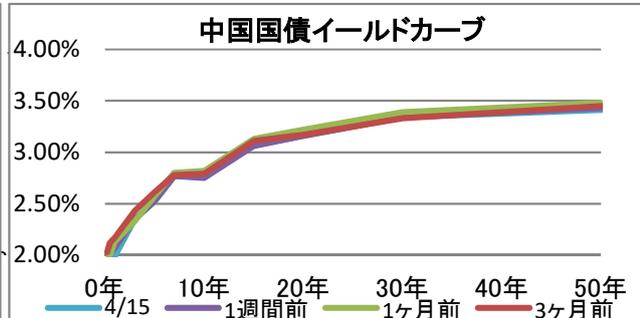
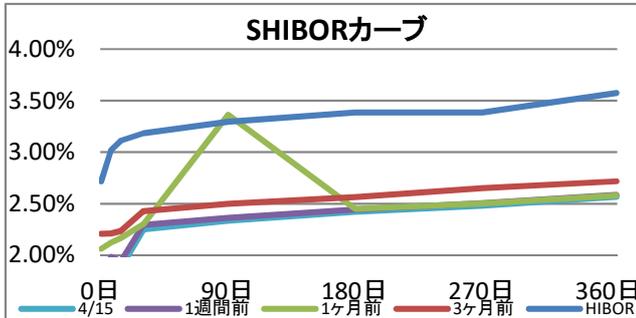


基準レート		2022/4/15	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.3896	+0.0243
	JPY/CNY	5.0623	-0.0676
SHIBOR	3M	2.3360%	-0.0270%
国債利回り	10年	2.76%	+0.01%
上海総合指数		3,211.24	-40.61



(1) 概況

国際金融市場では、イースター休暇を前にロシアに対する制裁強化による原油価格の上昇や米国の急速な金融引き締めへの懸念が一段と高まり、欧米の債券利回りが急上昇し、株式市場は軟調な推移となっている。外為市場では、米国と欧州の金融引き締めに対する姿勢の違いに注目が集まったものの、ロングウィークエンドを控え小幅な値動きに終始した。

中国金融市場では、COVID-19感染拡大によるロックダウンの経済への影響が懸念される中、国務院から繰り返し発せられる景気支援策において預金準備率引き下げに言及し、中国人民銀行高官からも同様の発言があったことから金融緩和期待が一段と高まり、短期資金市場と債券市場で利回りは低下したものの、株式市場の上値は重く、外為市場でも値動きは限定的となっている。中国人民銀行は金曜日の市場終了後に4/25からの預金準備率引き下げを決定している。

中国では、ロックダウンの影響への懸念が高まる中、習主席はゼロコロナ政策の継続を明言し、国務院からは景気対策関連の発言が増えている。国務院常務会は、消費促進と輸出支援に加え、融資規模拡大と借入コスト低減等を目的とする預金準備率引き下げ方針を決め、中国人民銀行高官も預金準備率引き下げに言及する中、同行は15日(金)にMLFを同額かつ金利も据え置きでロールオーバーする一方、夕刻に預金準備率引き下げを決めている。ただし、同行の公表文では流動性水準が既に十分であることや物価動向注視に言及する等、金融緩和の副作用に警戒感をにじませたものとなっている。上海市は、20日を目標とするロックダウン緩和に向けて封じ込め対応を強化する模様。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日400億元とMLF期日1,500億元に対し、新規リバースオペ600億元とMLF1,500億元(2.85%で据え置き)を実施し、差し引き200億元を供給している。

(3) 主な経済指標

- ・PPI(3月)は、前年比+8.3%(2月、+8.8%)と、前年比では5ヶ月連続で上昇率が低下しているものの、前月比では燃料価格を主因に上昇ペースが高まり、購買価格の上昇幅が在庫価格を上回る状況も依然として続く一方、生活品価格の上昇は低水準に止まっている。
- ・CPI(3月)は、前年比+1.5%(2月、+0.9%)と、食品価格の下落を燃料関連価格の上昇が上回る状況が続いており前年比では上昇幅が拡大しているものの、前月比では+0.0%と落ち着いた。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.3390%	1.5000%	1.6000%	
1W	1.8220%	2.5000%	1.8700%	1.6000%
2W	1.8840%	2.4000%	1.9500%	1.6000%
1M	2.2530%	2.1500%	4.8000%	1.9500%
3M	2.3360%	2.6000%	2.4800%	2.2400%
6M	2.4210%			2.3400%
9M	2.4820%	4.0000%	2.7000%	2.4200%
12M	2.5670%	3.7000%	2.6000%	2.4650%

国務院や中国人民銀行から預金準備率引き下げ発言が伝わり、金融緩和への期待が高まったものの金利水準の低下は限定的で、ターム物は1ヶ月の2.20%前後での出会いを除き限定的。金曜日の夕刻に預金準備率の引き下げが決まったことから、来週のLPRでの利下げの有無に注目が集まる。

NCDも、金融緩和期待が高まるに従い長めの期間を中心に取引は活発化したものの、金利の低下は限定的となっており、ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.0%前後、3ヶ月が2.25%前後、6ヶ月が2.35%前後、1年が2.45%程度に低下して取引されている。

(2) 米ドル資金(本土内)

	BID	OFFER
ON	0.25%	0.25%
1W	0.30%	0.35%
1M	0.50%	0.55%
3M	0.80%	0.90%
6M	0.90%	1.10%
12M	1.30%	1.60%

米CPIが予想の範囲内だったことからインフレ懸念が一時的に後退したが、FRB理事発言により警戒感が高まると米長期金利が大きく上昇する展開となった。中国国内のドル資金は出会いも限定的で金利水準にも大きな変化はなく、ターム物は1ヶ月の0.50%台での出会いを除き限定的。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.87%		2.20%	2.36%	2.62%
6M	1.94%		2.30%	2.40%	2.66%
1Y	1.99%	2.15%	2.48%	2.51%	2.79%
3Y	2.35%	2.56%	2.81%	2.96%	3.42%
5Y	2.52%	2.77%	3.19%	3.33%	4.08%
10Y	2.76%	3.07%	3.60%	3.73%	4.54%

債券市場では、國務院常務会に続き中国人民銀行高官が預金準備率引き下げに言及したことから金融緩和期待が高まったものの、利回り低下余地は限定的との見方から利回りは下げ渋る展開となり、10年債利回りは2.76%（前週末比+0.01）で週末を迎えている。米国10年国債との金利差は、週初に12年ぶりに米国債利回りが上回り一時的に逆転した後、週後半に米国債利回りが2.80%に上昇したことから再度逆転している。

イールドカーブは、緩和期待は高まるものの利回りが下げ渋る状況となり、相対的に短期の利回り低下が大きくスティーピング。また、クレジットスプレッドも利率債の低下余地が限定的であることを映じた縮小が続いている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	20.1 / 20.2
1M	105.3 / 105.7
3M	271.0 / 272.5
6M	440.0 / 449.9
9M	558.0 / 561.9
12M	612.0 / 618.0

対ドル基準レートは6.3896と前週末比+243pipsのドル高元安、対円基準レートは5.0623と同-676pipsの円安元高と対ドルで小幅なドル高が続いている。国内市場では週初に米中長期国債金利が一時的に逆転してドル高の動きが強まり、中国人民銀行の金融緩和期待も徐々に高まったがドルの上値は重く、週後半には米中長期国債金利が再度逆転したものの、6.37を挟んだ小動きに終始。

先物は、米国の金融引き締めと中国での金融緩和に対する見方に大きな変化はなく、週半ばまで小幅な値動きとなっていたが、週後半に中国での金融緩和期待が一段と高まり金利水準が低下したことから、1年物は600台前半ま縮小している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.09%		1.93%
6M	2.11%	2.37%	1.96%
9M	2.12%	2.37%	2.00%
1Y	2.13%	2.40%	2.04%
3Y	2.31%	2.70%	2.20%
5Y	2.51%	2.94%	
7Y	2.67%	3.13%	
10Y	2.84%	3.31%	

スワップ金利は、債券利回りの低下に伴い短期を中心に小幅低下。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドも、基準金利の低下や金融緩和期待により一段と縮小している。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。